

伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録 40 周年事業報

(1) 連携事業

①伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録 40 周年記念イベント～みらいへつなぐいきものフェスタ～

一般県民を対象としたイベントを開催。当日は約 700 名の来場者があった。

(日時) 令和 7 年 11 月 1 日 (土) 10 時から 15 時

(場所) 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

(主催) 宮城県、(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

(共催) 登米市、栗原市

(協力) 東北地方環境事務所、(有)伊豆沼農産、(一社) くりはらツーリズムネットワーク、アトリエ「み」、kamone、circulo カフェ、登米粉たいやき

(概要) 野鳥・魚の観察会、ワークショップ (木工品づくり、クイズ等)、講演会、企画展示、物品販売 (雑貨、カフェ、カレー、キッチンカー)、ゆるキャラ出展

伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録 40周年記念イベント
 1985-2025 40th Anniversary of the Ramsar site

みらいへつなぐいきものフェスタ
 2025年11月1日 [土] 10:00-15:00
 場所: 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター (鳥館)
 (栗原市若柳字上畑岡敷17番地の2)

ワークショップ

- ガンの羽ばたくモバイルをつくる!
- 伊豆沼のいきものペンダント・バズルづくり
- 作ってあそぼう! いきもの工作
- 目指せ渡り鳥マスター!
- 沼のいきもの復活大作戦!
- 伊豆沼の不思議を解き明かせ!
～クイズ形式のスタンプラリー～

自然観察会

- ①魚の観察会 または ②探鳥会
- [内 容] 伊豆沼のいきもの観察
- [定 員] 各20名 (先着順)
- [集合時間] 9:00～10:30
- [申 込 み] 右のQRコードから申し込みください
- [お問合せ] TEL.0228-33-2216 (9:00～16:30 月曜休)
- (公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

カフェ・物販

- 伊豆沼カレー (数量限定)
- コーヒー、ケーキ、クッキーなど
- たいやき
- 伊豆沼のいきものをモチーフにした雑貨
- かわいらしい鳥グッズが当たるかも カプセルトイとりくじ など

事前 申込制

持ち物

- 伊豆沼ってどんなところ? ～ 研究員によるお話 ～

くわしくは裏面をご覧ください

主催: 宮城県環境生活部自然環境課 (公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
 共催: 登米市、栗原市
 協力: 東北地方環境事務所、(有)伊豆沼農産、(一社) くりはらツーリズムネットワーク、kamone、アトリエ「み」、circulo カフェ、登米粉たいやき
 問合せ先: 宮城県環境生活部自然環境課 TEL.022-211-2672 (平日 8:30～17:15)

各コーナー紹介

「目指せ渡り鳥マスター」ほか1つ以上のワークショップや観察会に参加された来場者100名の方へ、環境省の登録40周年記念オリジナル手ぬいぐいプレゼント! (ワークショップを履修済み)

1-1 ガンの羽ばたくモバイルをつくる!
 伊豆沼で飛んでいるガンのことを学びながら、鳥舎を作って羽ばたくモバイルを作ります。
 [所要時間] 約30分
 [参加費] 1,500円
 申し込み: 自然環境課 TEL.0228-33-2216

1-2 伊豆沼のいきものペンダント・バズルづくり
 木で作った伊豆沼のいきものたもとを、糸やビーズを使ってペンダントやバズル、伊豆沼と関係がある大きさのバズルが作れます。
 [所要時間] 約15分～30分
 [参加費] 200円～500円
 申し込み: kamone

1-3 作ってあそぼう! いきもの工作
 いきものをテーマにした工作ができます。お土産品として販売もしています。
 [所要時間] 約30分
 [参加費] 1,100円
 申し込み: くりはらのツーリズムネットワーク

2-1 目指せ渡り鳥マスター!
 「カウスター」という道具を使って渡り鳥の姿を数センチ複製し、300mmを渡る「カウスター」の翼と目をつけて移動させます。
 [所要時間] 約10分
 [参加費] 約100円
 [申し込み] 自然環境課 TEL.0228-33-2216

2-2 沼のいきもの復活大作戦!
 ゲームを通して、伊豆沼・内沼のいきものを楽しく復元していきます。
 [所要時間] 約20分
 [参加費] 無料
 [申し込み] 自然環境課 TEL.0228-33-2216

2-3 伊豆沼の不思議を解き明かせ! ～クイズ形式のスタンプラリー～
 伊豆沼に関するクイズに答えながら、サンクチュアリセンターを周遊し、様々な発見があります。
 [所要時間] 約30分
 [参加費] 無料
 [申し込み] 自然環境課 TEL.0228-33-2216

3-1 伊豆沼ってどんなところ? ～ 研究員によるお話～
 知っているようで知らない伊豆沼について、研究員がお話します。
 [所要時間] 約20分
 [参加費] 無料
 開始時間: 自然環境課 TEL.0228-33-2216

3-2 魚の観察会
 伊豆沼には、どんな魚が住んでいるかを調べ、沼の生き物を探ります。
 [所要時間] 約20分
 [参加費] 無料
 [申し込み] 自然環境課 TEL.0228-33-2216

3-3 探鳥会
 伊豆沼には、マガンやハクジョウの他に多くの鳥がいます。専門家と一緒に鳥を探してみよう。
 [定 員] 各20名 (先着順) [所要時間] 9:00～10:30
 [お問合せ] TEL.0228-33-2216 (9:00～16:30 月曜休)
 (公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

カフェ・物販

伊豆沼カレー (数量限定)
 鳥の姿をテーマにしたクッキー、たいやきなど
 kamone、アトリエ「み」
 伊豆沼のいきものたもと (伊豆沼のいきものたもと)
 カプセルトイとりくじ (kamone)
 カフェ・キッチンカーも出るかも

アクセス

伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターまでのアクセス
 車: 宮城県道19号 (栗原市) 栗原市伊豆沼・内沼
 徒歩: 約15分 (鳥館) 伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
 自転車: 約15分 (鳥館) 伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
 公共交通機関: 伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターまで徒歩約15分

栗原市フェスティバル2025
 ～栗原市誕生20周年記念～ 同日開催

時間: 10:00～15:00
 会場: 栗原市総合市民センター
 〒989-8372 宮城県栗原市市町町地金栗原高5番地
 主催: 国土交通省東北地方振興局
 共催: 栗原市、宮城県環境生活部自然環境課

広報用チラシ

(配布先: 登米市・栗原市内の全小学校児童、県、2市行政庁、県内環境学習施設等)



伊豆沼・内沼オリジナルロゴマークを作成



会場案内



野鳥観察会



ワークショップ会場



企画展示



Circolo カフェによるカフェ提供



伊豆沼農産によるカレー販売



登米っこたいやき キッチンカー



県・2市ゆるキャラ

②「伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録40周年記念式典・シンポジウム」の開催

関係者、招待客、一般参加者を対象として式典・シンポジウムを開催。約160名が参加。

(日時) 令和7年12月23日(火) 13時から17時

(場所) エポカ21 (栗原市志波姫)

(主催) 宮城県

(共催) 登米市、栗原市、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

(概要) 開会式(宮城県知事、登米市長、栗原市長)、感謝状贈呈(トヨタ自動車東日本株式会社・豊田合成東日本株式会社)、基調講演(樋口広芳 東京大学名誉教授)、事例発表(財団、築館高校)、パネルディスカッション



来賓あいさつ



感謝状贈呈



基調講演(樋口東大名誉教授)



取組発表(築館高校)



パネルディスカッション



質疑応答

(2) 県自然保護課

③ One Green シンポジウム・イベントへのポスター出展

大阪万博で開催された One Green シンポジウム・イベント※において、伊豆沼・内沼自然再生事業を紹介したポスターを出展。

(日時) 令和7年5月7日、8日

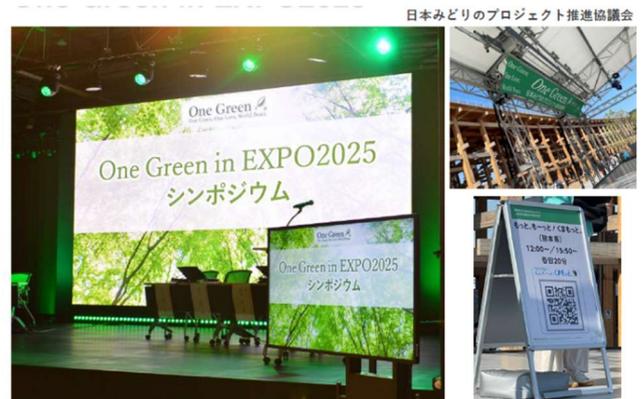
(主催) : 日本みどりのプロジェクト推進協議会



出展ポスター



シンポジウム会場



イベント会場

④ ラムサール条約登録湿地特設ページの開設（県庁 HP）

- ・7月から特設ホームページを開設
- ・1月末時点で、約1,000件のアクセスがあった。



★みやぎのラムサール条約登録湿地～ 関連イベント特設ページ～★

宮城県内には、県の北部を中心に4か所のラムサール条約登録湿地があります。令和7年は「伊豆沼・内沼」が登録40周年、「鶴栗沼・周辺水田」が登録20周年を迎えます。

各地域では、それぞれの湿地の自然を活用したイベントが開催されます。ぜひこの機会に足を運び、湿地の自然に触れてみませんか？

各湿地の特徴については、こちらをご覧ください。

♪♪イベント情報は随時更新されます♪♪

※各イベントの詳細については、リンク先に記載の各主催団体へお問い合わせください。

伊豆沼・内沼（栗原市・登米市）～登録40周年～

・「伊豆沼・内沼ラムサール条約登録地40周年記念式典・シンポジウム」＜12月23日（火曜日）＞

伊豆沼・内沼のラムサール条約登録40周年を記念し、湿地の保護とこれまでの保全活動、未来に向けた活用の在り方を皆さんに共有・発信します。



1.日時：令和7年12月23日（火曜日）午後1時から午後5時まで

2.会場：シンポジウムは終了しました。御参加ありがとうございました。

3.会場：栗原市「エガカ21」大ホール

3.主催：宮城県

共催：登米市・栗原市・公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

4.問合せ先：宮城県環境生活部 自然保護課 自然保護班 022-211-2672（直通）

・「伊豆沼・内沼自然体験講座」＜令和7年6月～令和8年1月の各開催日＞

～伊豆沼・内沼の自然について楽しく学べる体験型の講座です～

⑤ 県政だより（7・8月号）への特集ページ掲載（見開き1ページ）

7月1日発行の県政だよりに、特集ページを掲載。

みやぎの ラムサール条約登録湿地の魅力

① 伊豆沼・内沼 世界に発信！生物多様性保全・研究の先導地

外来種の影響による在来魚の回復や、動植物の生態調査となる「エコトーン」の復元など、自然再生に向けた取り組みが盛んに行われています。

※水田環境や水質が良質な地域と水田の連携

② 鶴栗沼・周辺水田 人の営みと生き物たちの共生

水田に隣接する水田では、米の田んぼに水田を隔る「あみずたんぼ」の取り組みが行われ、10万羽を超えるマガミが越冬します。

水田に隣接するマガミ水田

③ 化女沼 湿地の大切さを後世に伝える

マガミなど3万羽のマガミが越冬し、ハスなどの水生植物が生育しています。開放する自由広場には、湿地や歴史、民俗などの歴史館が整備され、観光の場として利用されています。

④ 志津川湾 東北で唯一の海塩の登録湿地

高塩やアマモなどの塩害が生じる海や、潮干草が広がる、夏には国の天然記念物であるコクサの島が知られます。県内に豊富に増殖する高塩・高塩は、近年、ブルーカーンやアサギなどとして注目されています。

※島の植物が島の風景を彩り、その島、高塩や高塩に高塩を育むための風景のこと

空から望む、豊かな自然と
深い緑の
ラムサール条約登録地、伊豆沼・内沼

伊豆沼・内沼
登録40周年
鶴栗沼・周辺水田
登録20周年

**世界に誇るみやぎの
ラムサール条約登録湿地**

「日本最大級のガンカモ類の越冬地」

「ラムサール条約」とは、水鳥をはじめとする多様な生き物の生息地で「自然」を守るための国際的な条約です。

県内には、伊豆沼・内沼（栗原市・登米市）、鶴栗沼・周辺水田（栗原市・登米市）、化女沼（栗原市）、志津川湾（三好町）の4つのラムサール条約登録地があり、これらが近接する地域は、全国的にも貴重な自然環境として注目されています。

登録地では、マガミの呼び立ちなど、豊かな自然環境を体験し、学び、自然と調和した持続可能な利用（リデュース）を目指す取り組みが行われています。

伊豆沼・内沼
登録40周年
鶴栗沼・周辺水田
登録20周年

各湿地の拠点施設での
イベント情報はこちら

⑥ 大阪万博メディアセンターでの、ポスター・動画・パンフレット展示

大阪万博 メディアセンター内の各地域の魅力発信コーナーにおいて、9/22-24 の3日間県内のラムサール条約湿地を紹介するパンフレット・動画・ポスターを展示。

<ポスター>

1. 宮城県内のラムサール条約登録湿地紹介（県自然保護課作成）
2. 伊豆沼・内沼の取組（財団作成）
3. 大崎市の取組（大崎市提供）
4. 志津川湾の生態系（南三陸町提供）

<動画>

1. 伊豆沼・内沼のマガンの飛び立ち（伊豆沼農産提供）
2. 大崎市世界農業遺産の紹介動画（大崎市提供）
3. 志津川湾紹介動画（南三陸町提供）
4. 伊豆沼・内沼のマガンのねぐら入り（伊豆沼農産提供）
5. 宮城県の紹介（県観光戦略課）

<パンフレット>

1. みやぎの世界湿地（日本語版）
2. みやぎの世界湿地（英語版）
3. 伊豆沼・内沼のツアーを紹介するリーフレット（伊豆沼農産提供）
4. 蕪栗沼・化女沼を紹介するリーフレット（大崎市提供）
5. 志津川湾を紹介するリーフレット（南三陸町提供）
6. 宮城を紹介するパンフレット（Visit Miyagi）（県観光戦略課）



⑦ ノベルティ（エコバッグ）、バナースタンドの製作



エコバッグ（200枚）
11月のイベント及び
12月の式典・シンポジウムで頒布。



・バナースタンド
（2種3セット）を製作
・3つの各サンクチュアリ
センターに設置。

⑧ 県政ラジオ放送による伊豆沼・内沼の取組紹介

県政の情報を発信している県政ラジオの中で、知事が自ら施策を紹介するコーナーにおいて伊豆沼・内沼の取組を紹介。

・放送予定日 1/31（土）11:50～（東北放送局、エフエム仙台、コミュニティFM）

(3) (公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団・鳥館

⑨ 自然体験講座 (10回中5回を特別プログラムで実施)

- (開催日) 令和7年6月～令和8年1月まで
10回開催のうち5回を特別プログラムで実施
- (内容) 特別メニュー 伊豆沼研究室
ガンの飛び立ち&ラムサール湿地見学ツアー
など
- (成果) 参加者からは、毎回好評を得た。
次年度も継続で検討中。

2025 令和7年度 伊豆沼・内沼自然体験講座
ラムサール条約登録湿地指定40周年記念事業
参加者募集

令和7年度は、伊豆沼・内沼がラムサール条約登録湿地に指定されて40周年となります。自然体験講座も40周年記念事業としていくつかの特別プログラムを用意しました。講座名の後に(特別プログラム)と表示しております。

第1回 伊豆沼水辺探検隊 (特別プログラム)
開催日: 令和7年 6月21日(土)
0時受付開始 0時30分開演

雨具を着用して、沼を歩きながら水生植物の観察や、仕掛けておいた定置網で魚を捕獲し観察を行います。

対象: 小学生(保護者同伴)
参加費: 1人1,500円 (昼食・資料・保険代)
集合: 宮城県伊豆沼・内沼サングチュアリセンター (鳥館)
募集: 各回定員5名程度
持ち物: 長靴、汚れてもいい服、着替え、帽子、飲み物、タオル

第2回 水辺の生き物採集と観察会
開催日: 令和7年 7月 5日(土)
0時受付開始 0時30分開演

水生植物園の池で、玉網を使い小魚や水生昆虫を採集し、その観察を行います。

対象: 小学生(保護者同伴)
参加費: 1人1,500円 (昼食・資料・保険代)
集合: 宮城県伊豆沼・内沼サングチュアリセンター (鳥館)
募集: 各回定員5名程度
持ち物: 長靴、汚れてもいい服、着替え、帽子、飲み物、タオル



⑩ フォトコンテストにおける特別企画

- (内容) 撮影場所をこれまでの「伊豆沼・内沼」に加え、県内のその他のラムサール条約登録箇所を追加し、撮影日も限定しないこととした。
- (成果) 令和7年12月28日で締め切り、101点の応募があった。今後、審査結果を発表・巡回展示する。

伊豆沼・内沼ラムサール条約指定40周年記念事業
第35回 伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

開催期間: 令和7年12月28日(日)まで
募集期間: 令和7年12月28日(日)まで
応募資格: 小学生以上(保護者同伴)
募集期間: 令和7年12月28日(日)まで
応募資格: 小学生以上(保護者同伴)
募集期間: 令和7年12月28日(日)まで
応募資格: 小学生以上(保護者同伴)

主催: 伊豆沼・内沼環境保全財団
協賛: 宮城県伊豆沼・内沼サングチュアリセンター
協賛: 宮城県伊豆沼・内沼サングチュアリセンター
協賛: 宮城県伊豆沼・内沼サングチュアリセンター
協賛: 宮城県伊豆沼・内沼サングチュアリセンター

お問い合わせ: 伊豆沼・内沼環境保全財団
〒985-0801 宮城県伊豆沼・内沼サングチュアリセンター (鳥館)
TEL: 022-822-1111
E-MAIL: info@izunuma.or.jp

⑪ 民間企業・ボランティア等と連携した環境保全活動



5月～6月：バス・バスターズ（全5回）
企業単位での参加もあり



6月28日：トヨタ自動車グループ6社によるCSR



10月26日：(株)伊藤園によるCSR



6月～11月：いきいき学園による
ボランティア活動（3回）



7月～12月：トヨタ自動車東日本(株)



豊田合成東日本(株)によるCSR（5回）

⑫ 友の会「秋穫祭」の拡大実施の支援

友の会が開催した「秋穫祭」を支援。いも煮等の提供に加え、写真教室やスタンプラリーなどのお楽しみイベントを支援した。

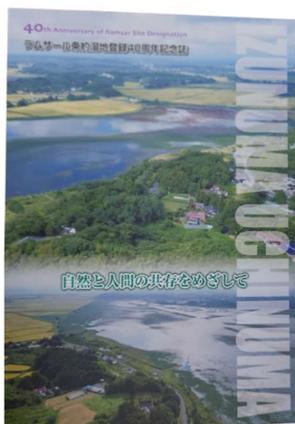
(開催日) 令和7年11月2日(日)

(場 所) 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター



⑬ 記念誌の発行

・伊豆沼・内沼の歩みと財団の取組についてまとめた。300冊を作成し、関係先へ配布。



⑭ 記念缶バッジの作成

・各種イベントにおいて配布。



(4) 東北地方環境事務所

⑮ オリジナル手ぬぐいの制作・頒布

オリジナル手ぬぐいを製作し、「伊豆沼内沼ラムサール条約湿地登録40周年記念イベント、式典・シンポジウム」、「蕪栗沼・周辺水田ラムサール条約湿地登録20周年祭」など各イベント等で頒布



(5) 登米市

⑯ 小中学生向けリーフレットを作成し配付

市内のすべての小中学校にリーフレットを配付

市内小中学生配付用

登米市のラムサール条約湿地

**今年で、伊豆沼・内沼は登録40周年!!
蕪栗沼・周辺水田は登録 20 周年!!**

【ラムサール条約湿地ってなんだろ?】

登米市には、豊かな湿地(※)があり、渡り鳥をはじめ、様々な水辺の生きものが、そこで生活しています。

こうした水辺の生きものにとって重要な湿地を、賢く利用して守っていこうという国際的な約束が「ラムサール条約」です。この条約の正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」ですが、1971年にイランという国のラムサールという都市で開催された国際会議で採択されたことにちなみ、「ラムサール条約」と呼ばれています。

条約を結んだ国で、国際的な基準によって重要な湿地として指定し、「国際的に重要な湿地に係る登録簿」に登録された湿地が「ラムサール条約湿地」です。

保全・再生
アクセス (賢く利用)
交流・学習 (CEPA)

ラムサール条約の3つの柱
(出典: 環境省ホームページ)

日本国内では、現在 54 か所の湿地が登録されており、宮城県内には伊豆沼・内沼(登米市・栗原市)、蕪栗沼・周辺水田(大崎市・登米市・栗原市)、化女沼(大崎市)、志津川湾(南三陸町)の4か所があります。

- 伊豆沼・内沼は、1985年9月13日に国内で2番目に登録され、2025年に登録40周年を迎えます。
- 蕪栗沼・周辺水田は、2005年11月8日に登録され、2025年に登録20周年を迎えます。

登米市には、国際的に重要と認められた湿地が2か所もあります。

詳しくは、登米市のほか、環境省や宮城県、(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団のホームページなどをご覧ください。
登米市市民生活部環境課
電話: 0220-58-5553 / 電子メール: kankyo@city.tone.miyagi.jp
登米市公式ホームページ: https://www.city.tone.miyagi.jp/

どうして湿地は大切なの?

湿地は、生物多様性を支え、水質浄化や洪水緩和、温暖化防止に加え、農業や漁業の基盤を提供し、自然と人間の生活を守る重要な場所です。

【登米市にあるラムサール条約湿地の概要】

【伊豆沼・内沼】

日本で2番目にラムサール条約湿地に登録された、登米市と栗原市にまたがる大小2つの天然の淡水湖沼です。冬も凍結し、湖沼が凍結しにくく、周辺にえさ場となる広大な水田があるため、冬には多くのマガンやオオハクチョウなどが飛来し、国内最大級の飛来鳥の越冬地となっています。

水深は平均80cm、最大1.6mと浅いのが特徴で、沼の中央部までハスなどの水生植物が生育し、水生昆虫や鳥類、鳥類など多種多様な生きものが生息しており、周辺に広がる水田の水源や洪水調整の役割も果たしています。

【蕪栗沼・周辺水田】

マガン、オオシロウイの越冬地として全国でも最大級の飛来鳥を呼び、越冬地として自然環境が保たれてきました。ガンカモ類のえさ場となる周辺水田と沼を一体とした湿地登録が特徴です。

周辺水田では、「ふゆみずたんぼ」(冬のたんぼに水を張り、渡り鳥との共生を指す手法)の取組が行われています。

伊豆沼・内沼のまわりには、沼の自然や歴史を学ぶことができる「サンクチュアリセンター」という施設があり、登米市(淡水鳥類)、宮城県(鳥類)、栗原市(昆虫類)の3館があります。

また、登米市公式ホームページでは、伊豆沼・内沼生きもの図鑑を閲覧することができます。(「登米市 生きもの図鑑」で検索)

「もっと伊豆沼やラムサール条約のことを知りたいときには」

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターを管理する(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団では、伊豆沼・内沼の渡り鳥や水生生物の研究、自然再生事業などを行っており、そのホームページで伊豆沼・内沼に関する様々な情報や、毎年1月の渡り鳥の飛来状況などが公開されています。

また、現在、財団の崎田智昭研究員がプロジェクトリーダーを務める、伊豆沼に飛来するハクチョウにカメラをつけてもらい、渡りの様子や位置情報を記録する国際共同プロジェクト「スワンプロジェクト」が実施されており、ロマンあふれるハクチョウの空の旅の様子も見ることができます。

・(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団ホームページ: <http://izunuma.org/>

みんなで伊豆沼をきれいに!!

毎年3月に、伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン(ごみ拾い)が開催されます。どなたでも参加できるので、ぜひご参加ください。(開催日・申込方法等詳細は、2月頃に市公式ホームページ等でお知らせします。)

(6) 栗原市

⑰ 広報くりはら (8月号) への特集ページ掲載 (見開き4ページ)

共生style



特集 伊豆沼・内沼ラムサール条約登録40周年
共生style
スタイル

人と共生する沼の
意見対立

Interview

伊豆沼・内沼の魅力を再発見
伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。

伊豆沼・内沼の魅力を再発見
伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。

共生style



一度削れた生態系の回復には
たくさんの方の力と
長い時間が必要

伊豆沼・内沼の魅力を再発見
伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。

伊豆沼・内沼の魅力を再発見
伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。

共生style



ワイズユースで取り組む
共生スタイル

Interview

伊豆沼・内沼の魅力を再発見
伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。

伊豆沼・内沼の魅力を再発見
伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。

共生style



伊豆沼・内沼に関心を持ち、関わり続けること
それが、水辺のまちの共生スタイル

伊豆沼・内沼の自然体験・保全イベント開催

伊豆沼・内沼の魅力を再発見
伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。

伊豆沼・内沼の魅力を再発見
伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、自然環境の保全と共生のあり方を考える。

(7) その他

⑱ 伊豆沼・内沼総合作品展の開催

- (日時) 令和7年7月1日～8月31日
- (場所) 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
- (主催) 伊豆沼・内沼自然保護協会
- (共催) 伊豆沼読書会
- (協力) (公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
- (協賛) (有) 及川商会、(有) 伊豆沼農産、
農事組合法人 水鳥、(有) パレット、
(株) コニー、若清テクノ(株)、
(株) はさま会館
- (内容) シンポジウム (7/12)
総合作品展 (7/1～8/31)

登米市誕生20周年記念 登米市市制施行20周年記念
伊豆沼・内沼ラムサール条約登録湿地指定40周年記念

伊豆沼・内沼総合作品展

伊豆沼・内沼自然賛歌
協会員の写真、絵画、短歌、俳句、川柳、音楽、歴史、文学などの総合作品展

無料入場

令和7年7月1日(日)～27日(日)
午前9時～午後4時30分(日曜・7月22日18時閉館)
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター

令和7年7月12日(日) 午後1時30分～午後4時
伊豆沼・内沼シンポジウム
～伊豆沼・内沼の魅力を再発見し、共生のあり方を考える～

令和7年8月1日(日)～31日(日)
午前9時～午後4時30分(日曜・8月31日18時閉館)
登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター 汲水魚屋

協賛: 伊豆沼・内沼自然保護協会、伊豆沼読書会、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、伊豆沼・内沼自然保護協会、伊豆沼読書会、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、伊豆沼・内沼自然保護協会

お問い合わせ: 伊豆沼・内沼自然保護協会
TEL: 0228-526-2789 FAX: 0228-32-2113